

1 まちづくりの方針

長野中央西地区市街地総合再生基本計画では、新田町交差点周辺エリアの都市の将来像を「市民活動と情報発信により中心市街地の結節点となる地域」と位置付けており、もんぜんぱら座の廃止後も引き続き、市民活動や交流の拠点として、その機能を維持していく必要があります。

また、当該エリアは、中心市街地のほぼ中心に位置し、市民や観光客など多くの人々が行き交う場所であり、まちづくりにとって重要な場所となっております。

このため、子育て世帯や若者など、多くの人々にとってここちよい まちなかの居場所となり、幅広い世代の交流や学びの拠点となるよう、既存機能の拡充に加え、長野市の魅力向上や賑わいの創出につながる新たな機能の導入について、官民が協働して取り組んでいくことが重要です。

2 新田町交差点周辺のまちづくり

(1) もんぜんぱら座の既存機能について

機能	機能の取り扱い	具体的な機能の例
市民活動 ・交流支援	新田町交差点周辺エリアに残した上で機能を拡充する	・若者の居場所や幅広い世代が交流できる場所 ・市民と観光客などが交流できる場所 ・演劇や音楽、ダンスなどに使えるスタジオ
生涯学習支援		・幅広い世代に利用される生涯学習の場 ・学生などが利用しやすい学習コーナー
子育て支援		・幅広い年代の子育てについて相談できる場所 ・子育て中の親同士が交流できる場所 ・雨や雪の日でも子供が遊べる場所
就労支援 生活等支援 障害者支援 外国人支援 その他事務所	人々の生活や社会にとって欠かせない重要な機能であるが、まちの魅力向上や賑わいの創出に直接つながるものではないため、エリア外に移転するとともに、サービスの向上を図る	
商業	地域住民の利便性や周辺の商業環境等を踏まえ取り扱いを検討する	

(2) 新田町交差点周辺に新たに導入することが望ましい機能について

機能	具体的な機能の例
文化教育	・居心地の良い空間を備えた図書館機能やギャラリー機能など
観光・情報発信	・市民や観光客が地域の食や文化を体験できる場など
商業	・来街目的となる魅力的な飲食や物販など

(3) もんぜんぱら座解体後の建物敷地の利活用について

○既存機能を交差点周辺やエリア外に直接移転した上で、建物を解体し、自由な土地活用を図る

○土地活用にあたっては、民間活力を活用し、まちの魅力や賑わいの創出につながる新たな機能を導入する

〈具体的な機能の例〉

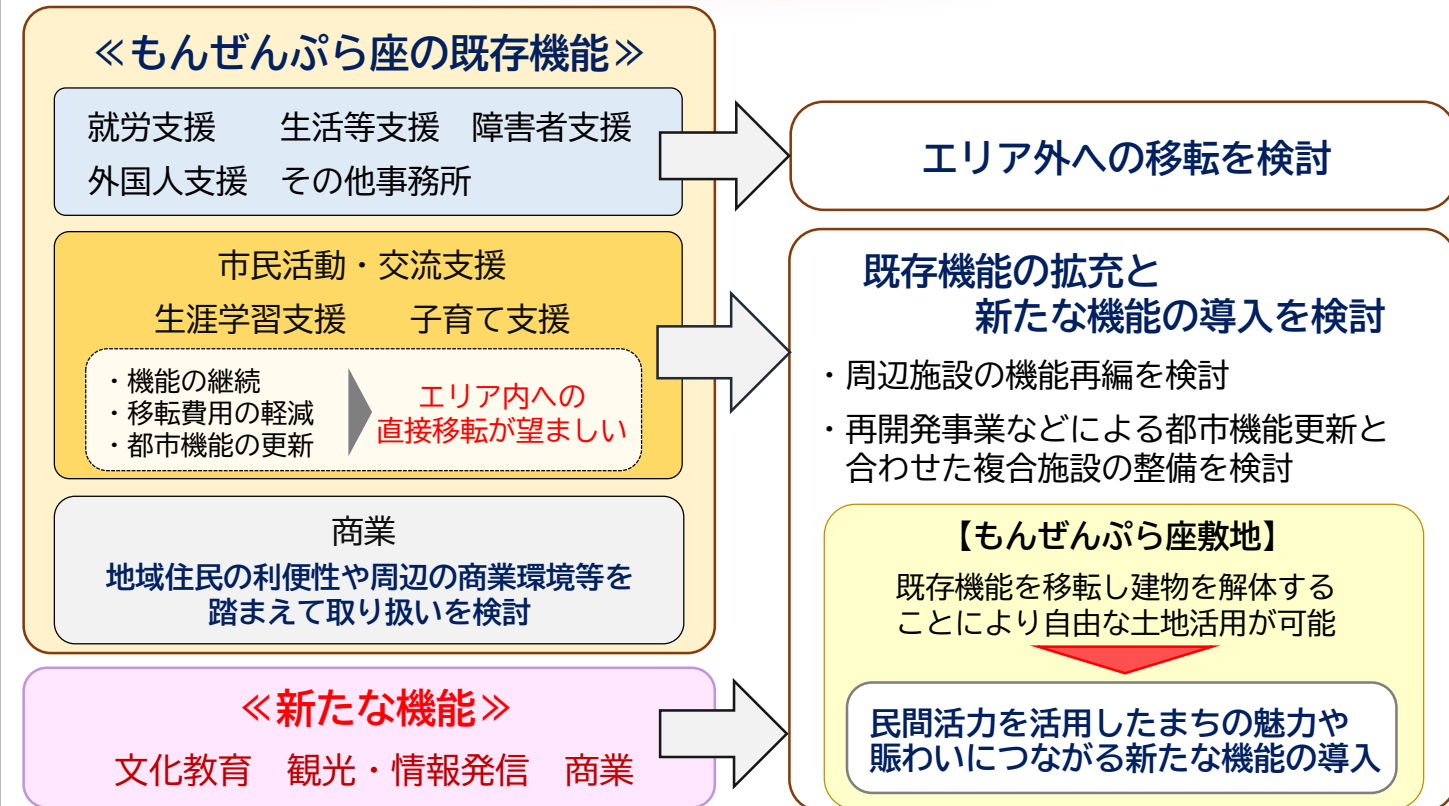
- ・市民や観光客が地域の食や文化を体験できる場などの観光・情報発信機能
- ・来街目的となる魅力的な飲食や物販などの商業機能

○新たな機能の導入にあたっては、PPP*などの官民協働によるまちづくりの手法を活用する

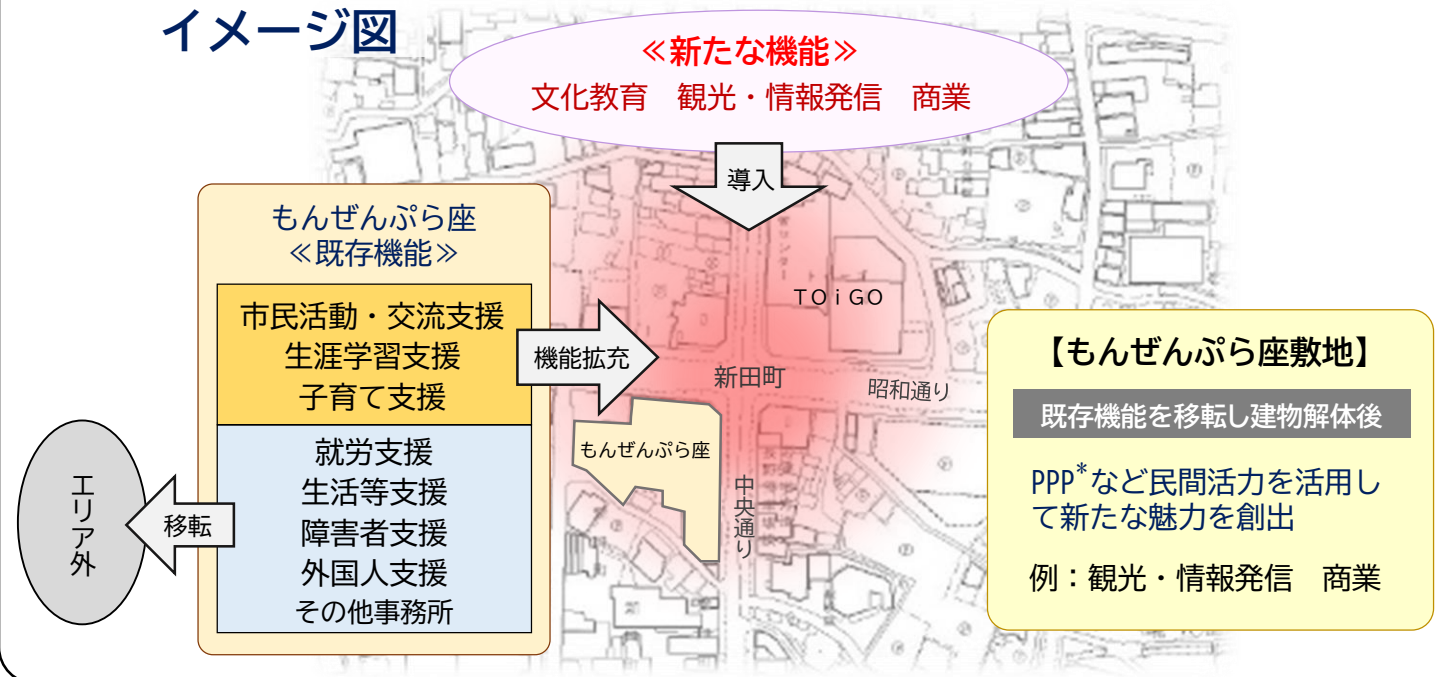
◆ 新田町交差点周辺のまちづくり

ここちよい まちなかの居場所

<交流・学び・子育て>



イメージ図



* PPP: パブリック・プライベート・パートナーシップの略で、公民が連携して公共サービス等の提供を行うこと